

理事通信²⁰²⁴12

つなげよう地域と世界、YMCA と共に
Connecting Local to the World with YMCA

『 Wishing each of you a happy Christmas 』

忙しい最中にも、ふと目にする紅葉に心がほっとする季節もつかの間、日増しに寒さも増し、いよいよ本格的な冬の到来間近となりました。早いもので今年度前期最後の理事通信となり、月日の流れの早さを身にしみて感じます。11月をもって8つの部会も終了し、来年3月開催の西中国部部会を残すのみとなりました。

10月26日の中西部部会は、大阪らしく賑やかで和気あいあいとした部会でした。山下邦義さんの木造建築耐震化のお話、大阪YMCA山根一毅さんによる被災地支援のスピーチは、二重被災による復旧・復興途上の能登半島を考える上で大変為になるお話でした。また、大阪YMCA留学生による、東南アジア孤児支援活動の取り組みのお話には感銘を受けました。

11月2日の六甲部部会は100周年となる甲子園球場近くで開催。作家玉岡かおるさんによる基調講演では、賀川豊彦氏と夫人ハルさんの時代を先取りした、先進的な社会活動の取り組みと功績、そして何よりその並外れた情熱と行動力の凄さに心が大きく動かされました。

9日には前期最後の瀬戸山陰部部会が岡山で開催され、ユースアクション2024プログラムでもある街中落書き消去が、YMCAせとうちのユースリーダー主導で行われました。ユースと歌い、語り、大変有意義な交流の時でした。その後、岡山教会で礼拝も行われ、他の団体にはないワイズの特性が多いに活かされた部会の持ち方には大変勉強になりました。

ユースとの接点では、もう一つ大変うれしいことがありました。ドバイでのIYCへ西日本区から参加のユースを空港で帰国お出迎えの時、満面の笑顔でわいわい話しながら現れた姿を見た瞬間、本当にすばらしい経験をしてきたことが一目でわかり、我々も嬉しく思いました。また皆さんの報告を楽しみにしたいと思います。

また、2年に一度開催の日本YMCA大会（東山荘）にも参加をしました。「全国Yの日本一自慢〜もう始めています！世界YMCA Vision2030」と題した各Yユースリーダーによるアワード大会では、ユースが集まり、つながるだけでなく、社会課題に積極的に、そして楽しく取り組む様子は大変印象に残るものでした。我々のユース時代の活動より、今日的な形へアップグレードした取組みの一つと感じました。投票の結果、ユースアクション2024でも支援中の盛岡YMCA子どもの人権チームが、最優秀賞に選ばれた事は大変光栄でした。

そして、23-24日には西日本区次期役員研修会が開催されました。中井信一次期理事より、主題『世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!』と方針を発表のもと、次期役員の方々からも、我々が国際協会の会員である事や、ユース支援への取り組み強化など、今期フォーカスをしている取り組みが、更に来期へも連なっていくメッセージが何え大変心嬉しい限りです。我々の活動が、未来に向けリーダー開発を助長し、世界の課題に取り組む動きとして広がっていくことを期待したい次第です。

世界を見渡せば決して安寧とは言えない一年でした。12月はいよいよクリスマス。仲間が集い、世界の国や民族の平和と心の平安を願いながら、一時でも穏やかで楽しい祝会が多く開催される事を願います。

IBC・DBC

締結したクラブ間では交流を実施（再開）し、未締結のクラブは、部や他クラブの交流にも参加して実感し、新たな締結を目指しましょう。

西日本区 国際・交流事業主任 山田 滋己

ワイズメンズクラブの原点は交流にあります。例会はもとより他に幾つもの形態があると思います。例えば、例会後の飲み会もその一つでしょうし、部の交流イベント等も上げられます。一方で、ワイズメンズクラブを一步外からの視点でみると、その違いは交流の先に事業があるということです（ある先輩にお聞きしました。事業が無ければただの飲み仲間ではなかろうか）。IBC(International Brother Clubs 国際兄弟クラブ)・DBC(Domestic Brother Clubs 国際兄弟クラブ)も事業の一つに定義されています。

西日本区定款施行細則 第13条 第I項 事業

定款第16条第4項の定めにより、置かれる事業は次の通りとする。

4 国際交流事業

以降は私見ですが、クラブは家族のようなもので、IBC、DBCは親戚付合いと捉えられると考えています。家族は子供たちが独立しても定期的に顔を合わせたり共に生活したりしますし、親戚は時により再会し近況を共有してその後のお互いの健康と再会を願う、そんな事ではないかと。再会までの期間の長短はあれども定期的という事が自然だと思います。事業としてのIBC、DBCでは、その自然な場を如何に作り出すか、智恵の出どころです。

コロナ禍を乗り越え久しぶりに親戚で集まる、親戚が少ない場合は近所の仲間の親戚付合いへ一緒に参加するなど、その機会をフラットに楽しみつつ、国内はもとより世界の組織・仲間をより多く知り、交流を促進頂く契機の月にして頂けたら幸いです。

Christian Emphasis

CE : Christian Emphasis キリスト教精神の理解

クリスチャニティー委員長 福永君二

教会では、12月1日（日）に救い主イエス・キリストの降誕を待ち望む降臨節（アドベント）を迎え、新しい一年が始まります。そこで、クリスマスの意味を皆さんにお伝えしたいと思います。

聖書は、イエス・キリストの誕生の意味について次のように教えています。

旧約聖書・創世記では、神様はご自分にかたどって清いものとして人間を創造されたと記されています。しかし、人間の象徴であるアダムとイブは、「エデンの園の中央に生える善悪を知る知識の木からその実を取って食べてはならない。」という神様との約束を破り、それ以来人間は神との愛の関係を断つ（原罪）存在となりました。にもかかわらず、神様は人間を愛してくださり、人間が犯した罪の償いと和解のために、神様自らがイエス様をこの世に生まれさせてくださいました。そして、イエス様の十字架の死と復活によって、人間と神との和解を成就させてくださったのです。救い主イエス様がお生まれになった場所は、馬小屋の飼葉桶の中。牛や馬に囲まれ、すえた匂いが漂い、人の居る所とは程遠いその場所は、低くされた人々に寄り添うイエス様の生き方を象徴するものでした。また、イエス様の誕生の知らせは、律法を守ることが救いにつながるとされていたユダヤの世界で、日夜羊の世話で、安息日すら守ることのできない、救いから最も遠い存在だった羊飼いたちに、最初にもたらされました。

キリスト教は、ユダヤ教から生まれた教えです。2000年の昔、キリスト・イエスは、律法に縛られたユダヤの生活が、律法を守ることができない小さくされた人（子ども、女性、伝染病に侵された人、徴税人、羊飼いなど）を神の救いから遠ざけていることを憂い、『隣人を自分のように愛しなさい』との教えを述べると共に、生涯ご自身の行いを通じて小さくされた人々に寄り添うことの大切さを示されました。このことが、弟子たちによって世界中に伝えられて今日に至っています。キリストの教えは、私たちにわかる言葉で書かれた新約聖書にあらわされています。聖書は世界中の言語に翻訳され、世界共通の価値観となっています。

キリスト教という言葉に抵抗感を持つ方もいらっしゃると思いますが、「小さくされた人々に寄り添う」ことをワイズメンズクラブの活動の基本と考えれば、ご理解いただけるのではないかと思います。



言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。
光は暗闇の中で輝いている。

ヨハネ 1:4-5

聖書の小窓「光が来るクリスマス」

ヨハネ福音書には、馬小屋での物語はありません。哲学的な表現でイエスの誕生を書いています。そのテーマが「言」「命」「光」です。

クリスマスの時期にくるのが冬至です。冬至は、二十四節気の第22番目です。旧暦で11月の内にあります。定気法では太陽黄経が270度のときで12月22日ごろです。クリスマスは、2～4世紀ごろ古代ローマで冬至の日に祝っていた「太陽神の誕生祭」「農耕神の収穫祭」がイエスの誕生と結びつけられたものです。

冬至の日は、昼間が一番短くなります。暗闇が一番長い日です。この世の光としてキリストが来られた。その時からこの世の闇は消え去り、神の光が輝きはじめるのです。

イエスの誕生は、この世に救いの光をもたらします。この世の暗闇は少しずつ短くなっていきます。クリスマスは光を心にお迎えすることです。暗闇の中にあってもこの光が私たちをしっかりと導いてくださいます。新しい年もこの世の光としてのワイズメンでありたいです。

中西部部長

湯浅 禎也 大阪西クラブ

2024年10月26日土曜日に2024年～2025年度における中西部部会を開催しました。今期は当初から大きな会場でたくさん集めてというのではなく、こじんまりとした部会にしたいという私の考えでホームクラブの例会場でもあるクライトン新大阪で行いました。100名までという制限の中94名の方にお集まりいただき、無事に終わることができました、参加いただいた皆様本当にありがとうございました。プログラムとして各クラブ会長、主査の皆様の意気込みと計画発表にはじまり、山下さんの地震対策における建物構造のお話、大阪YMCAの山根さんによる熊本や能登における1.5次避難所開設のお話をお聞きし改めて対策や支援の重要性を認識しました。その後の宴会におきましては各アピールに加え大阪YMCAのカレッジ留学生のミャンマー支援の話をお聞き彼女たち手作りのお菓子を支援の一環として協力しました。二次会も1階で茶話会を行い楽しい1日を過ごすことができました。



六甲部部长

小野 勅紘 西宮クラブ

六甲部部会は2024年11月2日(土)100周年の阪神甲子園球場のお膝元「ホテルヒューイット 甲子園」で開催。昨年タイガースの優勝と、広島・西宮・近江八幡3クラブDBCの75周年の交流記憶が重なります。球場100周年記念コインセット(造幣局発行)を、講師の玉岡かおるさんと、島田恒ワイズ(芦屋クラブ)に抽選サプライズで贈呈しました。

ホテルと講師選定に苦勞も、定員110名に近い107名の登録で開催に漕ぎつけました。2年前賀川豊彦夫人の賀川ハルさんの伝記「春いちばん」を上梓された作家の玉岡かおるさんを馬場一郎ワイズ(西宮クラブ元メンバー、賀川記念館館長、コープ神戸理事長)から紹介戴きました。

当日は台風21号の影響で、前日の絶望的な大雨には、新幹線が新大阪以西ストップした中、九州、広島、岡山からも何らかの手段で駆けつけて下さり、さすがのワイズ魂に感激!

13時から「EMCシンポジウム」、14時からの「式典」と進み、バナーセレモニーでは、設備のない会場にハンガーラックを用意し100円ショップの「固定バンド」で掲揚。これは中部部会の工夫がヒント。雨の影響で渋滞の講師の玉岡さんも何とか時間に間に合い到着。PPの準備が不十分のスクリーン表示にはクラブのメンバーの急遽応援でセットアップ完了。

講演は玉岡さんが用意されたPPで順調に進み、予定通り終了。SDGsを交えた講演には皆様大変好評でした。講演終了後玉岡さんは「春いちばん」のサイン会へ。用意された30部を完売。その後神戸YMCAが誇る混声合唱団「くさぶえ」の皆さんが大野勉ワイズのリードで会場の皆さんを巻き込んで7曲を歌い切り、予定通り18時に終了。

至らない部長をサポートして働いて下さった西宮クラブをはじめ六甲部の皆様、何と言っても足元の悪い中にも駆けつけて下さったワイズの皆様に御礼を申し上げます。



瀬戸山陰部部長

長寿 和子 岡山クラブ

「落書き消し」ユースアクションとともに

2024年11月9日（土）第23回瀬戸山陰部部会を開催いたしましたところ、中部から九州部の方まで、お忙しい中ご参加頂きありがとうございました。

ユースアクション「落書き消し」の活動を部会で取り上げ、若いリーダーたちとともに落書き一斉消去活動を行って頂きました。リーダーたちは、この日のために下見をしたり、説明の仕方を話し合ったりしっかりとした準備をしてきたようです。ただ、その日の天候が雨マークも出ていたため少しの不安を持ちながら迎えた当日でしたが、さすが晴れの国岡山 絶好の落書き消し日和となりました。ワイズメンとリーダーたちが一緒になって落書き消しに取り組み、汗を流し、会場に戻ってこられたかたがたの顔にはさわやかな笑顔があり、それぞれの感想を話し合った後は、楽しい歌で盛り上がりました。

礼拝堂で行われた式典にもリーダーが参加し、ワイズの時間を共有しました。

今回 部会の準備・企画・運営を行った実行委員は、ほとんどが新メンバーで、ワイズメンズクラブの部会に参加されたことのないかたばかりでした。しかし、知らないことは大きな強みとなり、型にはまらない独自の形で「瀬戸山陰部部会」を作り上げて頂きました。懇親会の最後にあたり、謝辞を述べさせて頂きましたが、つい司会の方に向かって「やりきりましたね。」の言葉が出てしまいました。

お越し頂いたみなさまから、帰り際に「良い部会でしたね。」と声をかけて頂きました。実行委員のみなさまのお力をいただき、ユースのみなさまのパワーを頂き素晴らしい部会を開催することが出来ました。心から感謝申し上げます。



第2回役員会議事報告

第2回役員会議事報告／概要版

開催日 2024年10月19日(土)

開催場所 ホテルクラントン新大阪

出席者 出席者 36名(兼任を除く)

| | | | |
|-------|----------------------------------------------------------|------|-----------|
| 第1号議案 | 第1回役員会の議事録承認の件 | | |
| 議案内容 | 2024年7月20日(土)21日(日)ホテルクライトン新大阪において開催の第1回役員会の議事録の承認を求めます。 | | |
| 提案者 | 西日本区書記 今西宏樹 | 審議結果 | 全員賛成 可決承認 |

| | | | |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|
| 第2号議案 | 2024-2025年度 西日本区第2回役員会 献金実施と贈呈先の件 | | |
| 議案内容 | 2024年10月19日(土)開催の第2回役員会は単日開催で早天礼拝がないので、ランチタイムに献金を実施し西日本区災害支援金へのプール金とすることを承認願います。 | | |
| 提案者 | 西日本区理事 鷗丹谷剛 | 審議結果 | 全員賛成 可決承認 |

| | | | |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|
| 第3号議案 | 第27回西日本区大会 会計決算報告 並びに 余剰金取扱 承認の件 | | |
| 議案内容 | 1. 本年6月8日名古屋で開催されました第27回西日本区大会の会計決算報告についてご承認いただきたい件(別紙 第27回西日本区大会決算書) 2. 余剰金取扱案として、549,800円を西日本区会計へ拠出することについてご承認いただきたい件 | | |
| 提案者 | 西日本区直前理事 深谷聡 | 審議結果 | 全員賛成 可決承認 |

| | | | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------|
| 第4号議案 | JWF 管理委員会の委員の承認の件 (議案名訂正:選出推薦の件) | | |
| 議案内容 | 2025-2026年度のJWF 管理委員会委員として以下の方々を選出推薦することを承認願います 川本龍資(名古屋)④ ・ 井之上温代(滋賀蒲生野)④ ・ 大野勉(神戸ポート)④ 石倉尚(京都キャピタル)② ・ 大谷茂(和歌山紀の川)② ・ 山本和生(姫路)② 中井信一(奈良)① 以上6名および理事 合計7名 | | |
| 提案者 | 西日本区次期理事 中井信一 | 審議結果 | 議案名訂正で全員賛成可決承認 |

| | | | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|
| 第5号議案 | 第29回 西日本区大会ホストクラブ及び開催地、日程を承認する件 | | |
| 議案内容 | 開催場所 : なら100年会館(区大会・代議員会) ホテル日航奈良(懇親会) 開催年月日 : 2026年6月13日(土) ホストクラブ : 奈良 ホスト協カクラブ: 阪和部全クラブ (和歌山・大阪サウス・大阪河内・大阪長野・大阪泉北・和歌山紀の川) 上記内容での西日本区大会開催の承認を求めます *2026年6月12日(金)に前夜祭を予定しておりますが、開催場所は未定です | | |
| 提案者 | 西日本区次期理事 中井信一 | 審議結果 | 全員賛成 可決承認 |

| | | | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|
| 第6号議案 | YMIワールド翻訳編集委員会及び東西日本区合同翻訳・通訳グループ 委員承認の件 | | |
| 議案内容 | YMIワールド翻訳編集委員会及び東西合同委員会(東西日本区合同翻訳・通訳グループ)の新たな委員メンバーとして以下2名の方の就任ご承認をお願いいたします。 小淵直一(大阪西)・岡野泰和(宝塚) | | |
| 提案者 | 西日本区理事 鷗丹谷剛 | 審議結果 | 全員賛成 可決承認 |

第2回役員会議事報告

| | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------|
| 第7号議案 | 2024-25年度第2回役員会議事録の承認をメール配信において実施する件 | | |
| 議案内容 | 現在第4回役員会の議事録承認を除き、第1～3回までの役員会議事録においては、各会の次に開催される役員会での上程議案にて承認を頂いています。 今後、第1～3回役員会における議事録承認においても、役員会後のデータ配信議事録をもって、メールでの承認議決の実施を検討したく、ついでにはその試行として、第2回役員会議事録の承認をメールにて実施することを承認願います。尚、メール議事録承認実施の場合は、次回役員会において理事がその審議結果の報告を実施する事といたします。 | | |
| 提案者 | 西日本区理事 鷗丹谷剛 | 審議結果 | 全員賛成 可決承認 |
| 第8号議案 | 「西日本区区報第2号」の非実本の試行実施について | | |
| 議案内容 | 区の財政改善に向けた経費削減のため、及びデータ試行的に西日本区区報第2号の製本・印刷を試行的に行わず、メール送付による配信とすることを承認願います。また、各クラブのメンバーで印刷物として送付希望がある場合は、印刷費と送料実費をご負担の上、発送する事を併せてご承認をお願いいたします。 | | |
| 提案者 | 西日本区理事 鷗丹谷剛 | 審議結果 | 全員賛成 可決承認 |
| 第9号議案 | 2023-2024年度の西日本区会計年間決算 承認の件 | | |
| 議案内容 | 2023-2024年度の西日本区会計年間決算報告について、承認をお願いいたします。 | | |
| 提案者 | 西日本区直前会計 河合博之 | 審議結果 | 全員賛成 可決承認 |
| 第10号議案 | 2024-25年度 第3回役員会を単日開催にて実施する件 | | |
| 議案内容 | 2024-25年度第1回準備役員会にて決議され、第1回役員会にてその議事録として承認済の第3回役員会の日程 2025年4月12・13日(土・日)を4月12日(土)の単日開催へと変更の上、実施することをご承認いただきたく、審議をお願いいたします。 | | |
| 提案者 | 西日本区理事 鷗丹谷剛 | 審議結果 | 全員賛成 可決承認 |
| 第1号協議案 | 「YMCA サービス・ユース」「地域奉仕・環境事業」資金運用細則の見直しについて (1本化) | | |
| 協議内容 | 現状「YMCA サービス・ユース資金」「地域奉仕・環境事業資金」運用細則は、それぞれ個別に設定されていますが、この2つの資金運用細則の1本化に向け、別紙「YMCA サービス・ユース、地域奉仕・環境事業資金運用細則」(案)として作成しましたので、協議のほどお願いいたします。 なお、本件協議を踏まえて、第3回役員会にて議案上程するものです。 | | |
| 提案者 | 西日本区理事 鷗丹谷剛 | 協議結果 | 協議結果を踏まえ次回上程検討 |
| 第2号協議案 | 「ユース活動・育成」支援事業をより強化・推進する為の体制・枠組みを検討する件 | | |
| 協議内容 | 西日本区として、未来を創造するユースの活動や育成に関する支援事業を、今後より一層強化推進する事を掲げ、現在実施の事業委員体制やそれに連なる諸規則等の枠組み、建付けをその目的に、より合致した形態へ変革出来ないか？検討をしたい次第です。また同時に、その事がワイルドダム発展の一因となり、ひいては我々の団体組織の拡大、成長につながる手段の一つとなるようなプラットフォームづくりが出来ないか？検討したい次第です。検討に際するたたき台として、提言協議内容を別紙に列記しましたので、区全体の課題として皆さままで協議を御願います。 | | |
| 提案者 | 西日本区理事 鷗丹谷剛 | 協議結果 | 協議内容を踏まえ次回上程か協議 |
| 第3号協議案 | 西日本区報ならびに理事通信の編集・発行に関する職務分掌の明確化と明文化について | | |
| 協議内容 | 西日本区報の発行ならびに理事通信の編集・発行に関しては、理事が発行責任者、主業務を理事事務局が担当することになっており(定款施行細則第20条ならびにロースターP37に明記)区報の編集のみ、区報編集委員会が担当することになっております。この特異的な状況を、整理し適切な業務分掌が図れるよう、従来とは異なる受け皿としての常置委員会の体制を整える(名称および位置づけ、委員構成の変更等)検討をすべく、協議をお願いいたします。 例) 委員会名称 区報編集委員会⇒区報・理事通信編集委員会 | | |

第2回役員会議事報告

| | | | |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------|
| | 例) 委員構成員 理事事務局長を委員長とし、直前・元事務局長が委員として数年の任期により指名、及びその他に業務上必要かつ適切な構成員数名などを選出なお、当協議を経て、第3回役員会にて議案上程したいと思いますが、議案においては、西日本区定款施行細則第20条、関連細則第15条・第24条、および各種規則における『区報編集委員会規則』の改正に関する議案内容とし、これらの事を明文化していきたい次第です。 | | |
| 提案者 | 西日本区理事 鶴丹谷剛 | 協議結果 | 全体論を検討し議案上程する方向 |

| | | | |
|--------|----------------------------------------|------|------------------|
| 第4号協議案 | YES 献金の資金運用細則(案)について | | |
| 協議内容 | YES 献金を区、部、クラブで使用出来るようにするための運用細則を作成する。 | | |
| 提案者 | 西日本区 EMC 事業主任 清水真一 | 協議結果 | 協議を踏まえ議論を進め、上程検討 |

| | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------|
| 第5号協議案 | YMIワールド翻訳編集委員の名称変更について | | |
| 協議内容 | YMIワールド翻訳編集委員の名称について、業務内容に則した名称に変更する。名称についてはYMIワールド翻訳編集委員の意見を踏まえ今後、検討していきたい。また、通訳業務については、翻訳委員の養成、後継者育成も視野に入れた通訳養成学校への派遣を中期的に検討していきたい | | |
| 提案者 | 西日本区次期理事 中井信一 | 協議結果 | 所管とも相談し次回上程 |

| | | | |
|--------|----------------------------------------------|------|---------------|
| 第6号協議案 | 西日本区大会開催時に自然災害等による中止の場合の補償について | | |
| 協議内容 | 西日本区大会開催準備中に自然災害のため中止になった場合の諸経費補償を西日本区に求めるもの | | |
| 提案者 | 西日本区中部部長 服部庄三 | 協議結果 | 協議結果を記録し、協議終了 |

| | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|
| 第7号協議案 | ワイズハンドブック&ロースター見直しの件 | | |
| 協議内容 | 現在のワイズハンドブック&ロースターを見直して、必要な物に限定して士気高揚を計りたい。 1. 現在のロースターを2冊に分離する。 ※「ワイズハンドブック」と「ロースター(名簿)部分」に分離する。 2. 「ワイズハンドブック」部分は現在使用されている小冊子に纏めて、会員全員配布とする。さらにこれには以前発行されたような、「ワイズ必携」や「ワイズ読本」のような会員の士気高揚を計る部分を追加して、毎年更新する。そこには、士気を高揚する読み物以外に、①クラブチャーターの苦労話や、チャーターの経緯を詳掲する。また、新人確保の経過やきかっけの体験談を掲載して、今後会員増強のヒントとする。 3. ロースター部分は東日本区が採用しているような形態にする。西日本区の役員には全員配布とする。メンバー一般にはパスワードを使用して閲覧出来るようにする。(パスワードは毎年変える) | | |
| 提案者 | 西日本区六甲部部長 小野勲統 | 協議結果 | 協議結果を記録し、協議終了 |

| | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|
| 第8号協議案 | 遠隔地メンバーの西日本区大会等(国内開催の国際大会、地域大会、東西日本区大会、東西交流会を含む)への参加を促すためにJWF資金を利用したい。 さらにJWFやEMC事業にも寄与出来るようにしたい。 | | |
| 協議内容 | 西日本区大会(東日本区大会や東西交流会を含む。国際大会やアジアSP地域大会などは除く)に参加する場合、九州や中部の遠隔地のメンバーは交通費の負担から、どうしても参加を躊躇する可能性があると思われる。JWFの資金を利用して、その支援をして参加を促してはどうか。 西日本区大会(東日本区大会や東西交流会含む、以後同じ)が開催される現地から、居住地の最寄JR駅がJR路線で400キロ以上離れている場合、1回につき10,000円の支援金を支給する。200キロ以上離れている場合は1回につき5,000円を支給する。例えば西日本区大会が九州で開催される場合は、近畿や中部がその対象になり、中部で開催される場合は、九州部などがその対象になる。沖縄の場合は航空直線距離をJR路線に置き換えて換算する。支給条件として支給対象大会の開催日以前2年以内に、JWFに1回につき15,000円以上供与している場合に限る。またはその日から3年以内以前に30,000円以上供与されている場合も該当する。この基準は年度毎に見直すこととする。理事を中心とする主要メンバーで調査決定をする。支給日は当該大会開催の次年度の10月以降に在籍しているメンバーに支給するものとする。(EMC対策) | | |
| 提案者 | 西日本区六甲部部長 小野勲統 | 協議結果 | 協議結果を踏まえ、継続協議 |

※議案内容等、掲載情報量の観点により一部内容割愛している所があります。

メネット 委員会 報告

2024-2026 ワイズメンズメネット国際プロジェクト

『TOGETHERHOOD—Federatia YMCA,Romania』に決まりました

ルーマニア連盟 YMCA（ウクライナとの国境にあるシゲトゥ・マルマチエイで活動）は、ウクライナ紛争によって国を逃れてきた6歳から12歳までの子ども達と13歳から17歳までのティーンエイジャー合わせて25名に対して12ヶ月にわたり以下の支援を提供する。

①放課後プロジェクト

温かい昼食、宿題のサポート、年齢に適したスキルを習得する学習活動。

チームワーク、リーダーシップ、コミュニケーションのスキルや能力を伸ばす機会を提供。



After school program.



Camp Harmony

②サマーキャンプ

ウクライナ、モルドバ共和国、ルーマニアの各地域から集まったキャンパーたちと過ごす国際的な宿泊キャンプ「ハーモニー」。

精神的な健康を支援するプログラムを作成し、環境との関わりを強化する力を養うことを目的とする。また、気候教育の要素を取り入れ平和の実現者となるような力を与えられるよう支援。

「ワイズメネットクラブ」の正式な条件

- ①正式にチャーターされ（最低5人の会員が必要）、IHQ にチャーター文書が記録される
- ②クラブ全メンバーは報告され、クラブは毎年会員一人あたり2スイスフランの会費（国際会費）をワイズメンズインターナショナルに支払わなければならない

現在、西日本区には以上の条件に該当するワイズメネットクラブは存在しません。よって、国際プロジェクトへの投票（どのプログラムを選ぶか）はできませんが、尊い活動には西日本区でも今まで同様協力をしていきたいと考えております。ご賛同いただけるクラブからのご支援をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。



メネット委員会代表
大野智恵

～メネットもワイズライフを楽しみましょう！～



第31回アジア太平洋地域大会 2025

いざ！熊本！！



実行委員長 田上 正（熊本むさし）

皆さん、2024年も師走を迎えいよいよ気忙しい時期となり、「第31回アジア太平洋地域大会 2025 & AYC（アジアユースコンボケーション）」の開催もあと8か月後に迫って参りました。

今回のように国際大会を九州・熊本で開催するのは初めてで、私たち実行委員会一同は、東・西日本区はもとより、アジア太平洋地域各国からの多くの参加者の皆さんに真心を込めて熊本ならではのおもてなしでお迎えするべく、現在準備を進めております。万障繰り合わせの上、奮ってご参加いただきますよう、心からお待ちしております。

なお、今月（12月）から私のコラム「第31回アジア太平洋地域大会（AC2025）に向けての裏話」に加えてこの理事通信で毎月情報発信をして参りますのであわせてよろしく御願います。

<<現時点での主なプログラム内容(案)>>

第1日目:

開会式典

フラッグセレモニー・ワイズソング

挨拶、祝辞など

国際会長 & アジア太平洋地域会長
就任式

基調講演

IBC締結式、報告など

晩餐会(ホテル日航熊本)

第2日目:

エクスカージョン

IBC, DBC フェローシップ

日本文化体験

晩餐会(ホテル日航熊本)

第3日目:

日曜礼拝

表彰

IHQ報告

エリア報告

AYC報告

各種プロモーション

閉会式



第74回 YMI 国際大会 in チェンマイで『第31回アジア太平洋地域大会 in 熊本』の盛大なアピール！！

先般の「西日本区第2回役員会(10月19日)で、各部長の皆さんにお願いしている参加者期待数の指標は

- ☆ 中部 18名 ☆びわこ部 20名 ☆ 京都部 155名
☆ 阪和部 27名 ☆中西部 22名 ☆ 六甲部 33名
☆ 瀬戸山陰部 14名 ☆西中国部 15名 ☆ 九州部 56名 西日本区 360名です
皆さん奮ってご参加ください・よろしく御願います

<日本語版> <英語版> <中国語版>

JA

EN

ZH

For greater joy!

The 31st ASP Area Convention

2025年8月1日～3日

in 熊本城ホール

会場案内

(登録費)

¥45,000

大会 WEB サイト(HP)

まもなくスタート！！

<早期割引はございません・ご了承ください>

2024年12月1日から

大会開催まで残り
カウントダウン！いよいよスタート！！

243 : 03 : 28 : 32

日

時間

分

秒

広報・PR委員長 上村 眞智子
(熊本ジェーンズ)

マーシャル委員長 中西 賢一
(熊本にし)

広告協賛募集中

マーシャルスタッフ募集中

登録開始は2025年2月予定！いよいよあと60日

第31回アジア太平洋地域大会 (AC2025) に向けての裏話 12月

その5



AC2025 実行委員長
田上 正 (熊本むさしクラブ)

クリニックの車には名前がついている。10月まで乗っていた車には「きなこ」、きな粉色だったからだそう。 「きなこ」にはバックモニターが付いておらず、走行距離が10万キロに近づいたので、白いトヨタヤヌスの新車が私専属？の車になった。

既にあだ名がミルクと言う白い車がある。皆はホワイトや雪を期待していたが、「ロマン」と名付けた。白いロマンにこれから歩む確かな軌跡を描いていく……。こんな夢のある話をメネットにしたのだが、「フーン」という返事しかなかった。

新入会

あたらしい
仲間を紹介します。

京都部

入会日：2024/11/1
京都ウエスト
瀬上 啓二

阪和部

入会日：2024/11/21
大阪茨木
水城 実



YMCA 同盟通信

西日本区担当主事 有田征彦

■ 広島YMCAと被団協

ノルウェーにあるノーベル平和賞の選考委員会は、2024年10月11日、ノーベル平和賞に日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）を選んだと発表した。日本被団協は、広島や長崎で被爆した人たちの全国組織で、70年にわたり被爆の実相を伝え、核兵器廃絶を世界に訴える活動を続けてきた。

広島 YMCA は 1952 年に旧本館が建設され、広島の地域コミュニティの中心的な存在として様々な活動が展開してきました。その活動には、2017 年ノーベル平和賞受賞の ICAN のサーロー節子さんや現広島県被団協理事長の佐久間邦彦さん、G7 で各国首脳に被爆証言を行った小倉桂子さん等の若者もいました。広島 YMCA の使命にも掲げられる平和活動は市民を中心とした原爆被害に対する救済運動が中心として行われていき、被爆者救済を国に求めるために多くの市民や団体がつながって、1956 年 5 月 27 日に広島県の原爆被害団体協議会（被団協）が広島 YMCA の講堂において設立されました。

当時（1955 年）、YMCA 会員であった佐々木禎子さんが原爆症で亡くなり、追悼会において「原爆の子の像」の建立運動が始まります。3 年の月日を要し原爆の子の像が完成し、活動にかかわった青少年達の折鶴の会が発足。1960 年には、広島市議会で決定されていた原爆ドーム撤去の方針に対し、YMCA の「折鶴の会」の青少年たちが原爆ドーム保存運動に立ち上がります。1970 年代には原爆瓦運動や 1980 年代初頭には、原爆投下の実写フィルムをアメリカ国立公文書館から買い戻すための 10 フィート運動など、広島 YMCA が事務局となり、ヒバクシャの方々と共に歩んできました。広島 YMCA 主催の市民平和行進は 1979 年から広島県の 2 つの被団協と広島県生協連とともに現在でも毎年 8 月 4 日に行っています。

今回のノーベル平和賞受賞の要因となった「ヒバクシャ国際署名」にも広島 YMCA は大きな役割を果たしてきました。毎年 8 月に開催される広島 YMCA インターナショナル・ユースピースセミナーには被団協との深い関係から、被団協のトップの方々や国際的に活躍する核兵器廃絶 NGO のの方々から講演をいただき共に活動を続けています。

理事通信 12 月号は争いの絶えることのない世界で広島 YMCA の平和運動の歴史のほんの一部を紹介させていただきました。



1956年5月27日 広島YMCAの講堂で広島県原爆被害者団体協議会発足



原爆の子の像建立運動



原爆ドーム保存運動



2017年・2019年 現被団協理事長 真牧智之氏



毎年8月4日実施の市民平和行進



2024 ~ 2025 年度 各部部会の開催日程です。



西中国部

2025年3月22日 (土)

会場：岩国市 詳細は後日ご報告いたします。

ホスト：岩国みなみ



阪和部・中西部合同例会 案内

ワイズメンズクラブ国際協会
阪和部・中西部合同新年会



ゲスト講師 権田 康徳 氏
 元阪神タイガーストレーナー
 Double Rainbow ASH-HYA for Training & Care 代表

アヲハマ大学アスレチックトレーニング学部を卒業後、NATA公認アスレティックトレーナー資格ATCを取得。その後、アリゾナ州立大学大学院修士課程へ進学し、修士課程修了後、アメリカで多数のメジャーリーグのリハビリやコンディショニングなどに携わり経験を積む。2007年から2021年まで15年に渡り、阪神タイガースのトレーナーを務める。

ゲスト演奏 大黒 恵子 氏
 日本民謡・三弦、鈴乃恵会会長
 津軽三味線内田源節範

大阪市在住、小学5年生より民謡を習い始める
 津軽三味線、民謡、鳴物各こなすオールラウンダー
 下津井節、尾崎節、波海節など数々の民謡全国大会にて優勝。
 平成27年、産経新聞社主催 第50回産経民謡大賞にて内閣総理大臣賞を受賞。
 現在は関西を中心にラジオ出演や海外での演奏など全国の舞台で活躍するとともに、後進の育成にも力を入れている。

2025年1月13日(祝月) AM11:30~14:30
 ANAクラウンプラザホテル大阪 13000円
 大阪府大阪市北区堂島浜1-3-1

第28回西日本区大会



ワイズメンズクラブ国際協会
第28回
西日本区大会

Challenge for Change
BE Y's IN KOBE



2025
6.14 sat.

SMILE. IMPACT. CONNECT.

■ 会場 ANA クラウンプラザホテル神戸

ホストクラブ： 神戸クラブ・西宮クラブ・神戸西クラブ・神戸ポートクラブ・宝塚クラブ・神戸学園都市クラブ・芦屋クラブ

理事通信 12月号お知らせ

12-1 西日本区事務所年末年始休暇のお知らせ

西日本区事務所は12月26日(木)から1月7日(火)迄年末年始の休暇となります。1月8日(水)から再開いたします。その間、緊急事項等お急ぎの用件がございましたら、西日本区書記までご連絡ください。

西日本区書記 今西 宏樹 (京都トップス)

E-mail アドレス : imanishi@idumi.com 携帯電話 : 080-2435-1445

理事通信²⁰²⁴ 12 編集後記

11月を終え、各部で行われていた部会も、延期となった西中国を残すのみとなりました。各部の部会に参加させてもらい、いろんな部会があり、それぞれ楽しませていただきました。

そして、今月号では10月19日に行われました、西日本区第2回役員会の議事概要を掲載しております。区報に議事録が掲載されますので、またご確認頂ければと思います。

寒くなってまいりました。もうすぐクリスマスです。皆様体調を崩されぬよう、楽しいクリスマスを迎えましょう。

今西 ▶ imanishi@idumi-s.com 馬場 ▶ aki_banba@e-shoei.com 西日本区理事事務局 事務局長

馬場 昭宏

